

企業物価指数・二〇一〇年 基準改定結果を公表

(二〇一二年七月四日)

▼日本銀行は、企業物価指数の基準改定(二〇一〇五年基準から二〇一〇年基準への移行)を実施しました。

五年に一度行われる企業物価指数の基準改定では、①指数の基準時点(指数水準を一〇〇とする年)の更新、②品目や類別などにかかるウエイトの更新、③品目改廃(品目の新設廃止、分割など)、④そのほか、価格調査や指数作成方法の改善を行います。これらの見直しは、わが国における近年の産業・貿易構造の変化を統計的に的確に反映させることなどを通じて、統計の信頼性向上につながります。

日本銀行では、今回の基準改定にあたり、昨年二月に基本方針を公表してパブリック・コメントを募り、同十二月には寄せられたコメントも踏まえて最終案を公表しました。最終案では、今回の改定のポイントを、(1)経済実態の確な反映、(2)統計ユーザーの利便性向上、(3)わが国公的統計の体系的な整備を意識した対

応(4)報告者負担の軽減を意識した対応の四点に整理しました。

先般公表した、「企業物価指数・二〇一〇年基準改定結果——改定結果の概要と二〇一〇年基準指数の動向——」では、こうした方針に沿って作成した新基準指数について、品目数・ウエイトなどの最終結果や実際の指数動向を示しています。

なお、今回の基準改定では、一部の改定作業のシステム化などに伴い、改定結果の公表早期化(前回対比で約五カ月前倒し)を実現しました。これにより、「国民経済計算(内閣府)など、実質値算出の際のデフレーターとして企業物価指数を用いている他の公的統計の作成部署も含め、ユーザーの皆さまが従来よりも早く新基準指数を利用できるようになりました。

▼統計ユーザーの皆さまにとってより便利に、そしてより身近にお使いいただけるよう、これからさまざまな工夫を行ってまいります。

※詳細は日本銀行HPをご覧ください。
http://www.boj.or.jp/research/bp/ron_2012/ron120704a.htm/

「日銀夏休み親子見学会 二〇一二」を開催しました

▼「日銀って何をしているところ?」「日銀ってどんなところ?」

そのようなお子さまの好奇心に因應するため、日本銀行本店では六日間(注)にわたり「日銀夏休み親子見学会(二〇一二)(協力:金融広報中央委員会)」を開催しました。

(注) 七月二十六日(木)・二十七日(金)、八月二日(木)・三日(金)・二十三日(木)・二十四日(金)

▼本見学会では、小学校四年生〜六年生、中学生の方と保護者のペア(一日二回、各回定員二四組)で、本店見学、体験学習など約二時間のプログラムに参加していただきました。

多くの参加者の方から「楽しかった」「子供のためになった」という感想が寄せられました。

▼はじめに、日本銀行の仕事や金融・経済の仕組みについて分かりやすく説明したビデオを視聴し、日本銀行の役割やインフレやデフレなどについて学んでいただきました。

▼国の重要文化財に指定されている本店本館の見学では、会場で配付される「見学チェックシート」を見ながら、情報サービス局スタッフによる説明を交えて旧地下金庫や史料展示室などを見学していただきました。

▼模擬券を使ったお札の数え方の体験学習では、日本銀行で実際に用いられている二種類の数え方を体験していただきました。



気になるトピックは見学チェックシートにすかさず記入

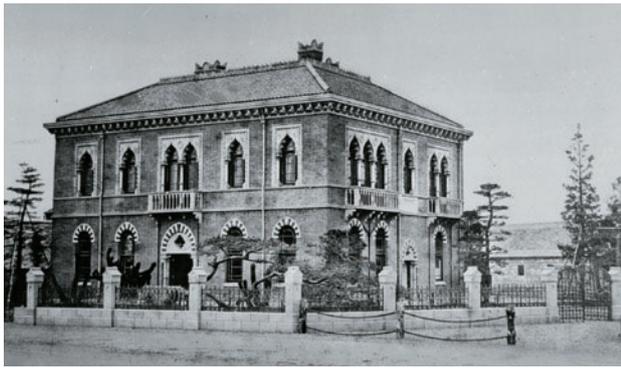


模擬券を使ったお札の数え方体験

「にちぎん体験二〇二二」を 開催します

▼日本銀行本店では、十月二十九日（月）～十一月四日（日）の期間、「にちぎん体験二〇二二」と題して、企画展・市民講座・本店見学ツアーを開催します。ぜひご来場ください。

①企画展（期間中常設 予約不要）…本店本館内に特設した展示室にて、日本銀行の役割・業務、歴史についてご紹介します。



開業時の日本銀行本店（日本銀行金融研究所アーカイブ所蔵）

②市民講座（十月二十九日〈月〉、十一月二日〈金〉、十一月四日〈日〉、

要予約）…日本銀行の役割や日銀本店の歴史、お金をめぐる話題などをテーマに、日本銀行職員が説明します。なお、平日開催の講座は、旧地下金庫見学をセットにした夜間講座です（十八時三十分開始）。

③休日本店見学ツアー（十一月四日〈日〉、要予約）…通常平日のみに実施しているツアーを休日に開催します。重要文化財に指定されている本店本館の建物内部や旧地下金庫をご案内します。

④レクチャー付き本店見学ツアー（十月二十九日〈月〉～十一月二日〈金〉、要予約）…本店本館の見学後、日本銀行職員が日本銀行の役割などについて説明します。

※詳しい内容や時間、事前予約の方法などについては日本銀行HPをご覧ください。

<http://www.boj.or.jp/>

【会場】日本銀行本店

（東京都中央区日本橋本石町）

【お問い合わせ先】

日本銀行情報サービス局

総務企画グループ

〇三―三二七―二五六八

貨幣博物館企画展

おかね道中記―旅で使う貨幣― を開催します

十一月十日～二〇二三年五月十二日

▼古都観光のため東京駅から新幹線で京都へ（二三〇〇〇円）。昼食湯豆腐（二〇〇〇円）。お土産京銘菓（六〇〇円）。宿泊代（六〇〇〇円）。…、そんな旅の記録を書いたことありませんか？

東海道の起点・日本橋を出発して伊勢参詣、足を伸ばして京都、金比羅巡り。わらじ二二文、安倍川餅二五文、大井川渡し三三〇文、宿泊代二〇〇文…、江戸時代にも旅人は道中の支払いなどを記録していま



右／「道中入用帳」旅での支払いが記録されている
下／「銭刀」盗難を避けるためお金を隠して旅をした



した。

古代に国家が銭貨を発行して以降、貨幣制度の移り変わりとともに、旅におけるお金の使われ方も変化してきました。

本企画展では、当館で所蔵する貨幣や旅に関する古文書、絵画などにより、古代～明治初期までの旅で、お金のどのように使われていたかをご紹介します。

※最新の開館情報は貨幣博物館HPをご覧ください。

<http://www.imes.boj.or.jp/cm/>

〈会期中の開館時間〉

【開館時間】九時三十分～十六時三十分（入館は十六時まで）

【休館日】月曜日、祝日（ただし土曜日・日曜日と重なる場合は開館）、振替休日、年末年始（十二月二十九日～一月四日）、一月二十六日。なお、十一月六日～九日は、展示入れ替えのため臨時休館します。

【入館料】無料

【所在地】東京都中央区日本橋本石町

一―三二七―（日本銀行分館内）

【お問い合わせ先】

〇三―三二七―三〇三七

編集後記

■毎晩、ロンドン五輪での日本人選手の奮闘をテレビ観戦している。メダル獲得に破顔一笑する選手もいれば、思わぬ失敗に悔し涙を流す選手もいる。ただ、国際的な舞台で果敢にチャレンジする姿と日本人らしいマナーの良さは、どの選手にも共通している。兼高さんの心配も少し和らいだのではないと思う。

(鮎瀬)

■女性の社会進出が現在ほど一般的でなかった時代、美しい山の手言葉を話し、いつもほほ笑みを絶やさない兼高かおるさんが、果敢に世界各地を回り、さまざまな人々と交流するお姿は、子供の私には驚きであり、同時に何か誇らしい気持ちでした。実際に緑まばゆいカフェテラスで伺った兼高さんのお話は、珠玉の言葉であふれていた。「何事も自ら体験することが大切」「人生は思い通りにいかないものだけど、前に進んでいけば何とかなるもの」というお言葉は、現代の日本人への重要なメッセージであると思った。兼高かおるさんのますますのご健勝をお祈りします。

(TK)

■「これが河内や!いうことですね」。開口一番、司会者が苦笑いして主催者の挨拶の後を継いだ。東京で開催された「もうかりメッセ東大阪」での一コマである。サービス精神あふれる威勢の良い挨拶であったが、事前の想定とは違っていきなり。盛夏に訪ねた東大阪でも、聞こえてくる話は夏バテとは無縁だった。国内市場の縮小や新興国との競合など、数え上げればキリがないビジネス環境の悪化を笑い飛ばす「河内のおっちゃん」たち。オンリーワン技術と仲間うちのネットワークを駆使して生き抜くおっちゃんに、モノづくりの町の真髄を見た気がした。ラグビーシーズンが本格化する秋。「花園」の涼風とともに2012年秋号をお届けします。

(TO)

※本誌は、全国の日本銀行本支店および貨幣博物館、旧小樽支店金融資料館等でお配りしています。個人の方の定期購読、郵送はお取り扱っておりませんのでご了承ください。なお、既刊号全文をPDFファイル形式で日本銀行ホームページ上に掲載していますのでご利用ください。

(http://www.boj.or.jp/announcements/koho_nichigin/index.htm/)

※本誌に掲載している内容は、必ずしも日本銀行の見解を反映しているものではありません。日本銀行の政策・業務運営に関する公式見解等については、日本銀行ホームページ (<http://www.boj.or.jp/>) をご覧ください。

にちぎん 2012年秋号
編集・発行人 鮎瀬典夫
発行 日本銀行情報サービス局
〒103-8660
東京都中央区日本橋本石町2-1-1
☎03-3277-2405

デザイン 株式会社市川事務所
印刷 株式会社アイネット
©日本銀行情報サービス局 禁無断転載

*本誌の用紙は、環境・社会・経済のすべての側面に配慮した厳しい基準に従って適切に管理された森林からの木材を原料としていることを示す、FSC認証紙を使用しています。

「親子のための おかね学習フェスタ」を 全国五カ所で開催します

▼金融広報中央委員会(事務局:日本銀行情報サービス局内)は、おかねについて親子で楽しく学べる体験型イベント「親子のためのおかね学習フェスタ」を、全国五カ所で開催します。

▼私たちを取り巻く金融・経済環境が大きく変化し、おかねに関する知識を身につけることが今まで以上に重要になってきています。こうした

中、今回のイベントでは、体験型学習プログラムや人気キャラクターのオリジナルショー、おかねクイズ、貯金箱作りなど、さまざまなプログラムをご用意していますので、皆さまお誘い合わせのうえ、ぜひご来場ください。

【申し込み方法】一部のプログラムは予約制です(注)。静岡・東京会場の予約制のプログラムは定員に達しました。福島・愛媛会場は開催の約二カ月前より受け付けます。詳しくは公式サイトをご覧ください。

(注) 予約は先着順に受け付け、定員

に達した場合は締め切らせていただきます。

<http://www.festa2012.jp/>
【開催日程】

兵庫 八月二十五日(土)開催済
静岡 十月二十一日(日)
東京 十一月二十三日(金・祝)
福島 十二月十五日(土)
愛媛 二〇一三年一月十九日(土)



©FUJITV KIDS